

「尼崎市消防署等配置計画」(素案)についてのタウンミーティング結果

タウンミーティングにおいて寄せられた主なご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。
なお、市の考え方は、タウンミーティングでの説明内容に加え、市の考え方を改めてまとめた内容としています。

実施日	場所	参加者数	意見数
令和5年1月12日(木)	小田南生涯学習プラザ	1人	0件
令和5年1月13日(金)	尼崎市防災センター	2人	7件
		計3人	計7件

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
消防署の配置位置について			
1	市域の西部に消防署が多く配置され、東部が少ないのではないかと。	1	[その他] 今回の取り組みは、高齢化の進展と人口減少の両面を見据える中で、消防体制の確保を継続しつつ、災害形態の変化、消防行政に対するニーズ、消防署からの現場到着時間等を踏まえ、消防力をさらに強化するために必要な消防署及び部隊・車両の将来的な配置を図るものです。
2	4消防本署のうち3消防本署が市域の西部に配置され、東部が手薄になるのではないかと。	1	取り組みにおいては、消防出張所を消防分署に変更するとともに、消防分署の機能強化を行い、消防本署と同等の消防力や消防サービスを提供できる体制を構築します。 したがって、消防本署の立地場所に関わらず全体として消防力の強化を図り、消防サービスの向上を目指すものです。
人口動態と救急需要について			
3	人口動態と救急需要の相関性をどのように考えているのか。	1	[すでに盛り込み済み] 高齢化の進展や独居世帯の増加により、救急件数及び救助件数は増加傾向にあります。 今回の取り組みにおいては、部隊・車両の再編や配置換えを行い、救急隊と専任救助隊をそれぞれ1隊増隊し、救急・救助体制の強化を図ります。 また、各消防本署は救急隊2隊体制とすることにより、救急要請に対し、より柔軟に対応してまいります。
消防庁舎の浸水対策について			
4	新たに整備する消防庁舎はどのような浸水対策を行うのか。	1	[すでに盛り込み済み] ハード面では、電気設備等を庁舎の上階や屋上に配置し、非常用発電設備の設置を予定しています。 また、ソフト面では、浸水が予想される場合には消防活動等を行いつつ、車両や必要な資機材を浸水の恐れがない場所に一時退避させ、消防力を維持・確保する計画を立てており、年1回消防局全体で実動訓練を実施しています。
消防施設の規模について			
5	新たに整備する消防庁舎は、さらなる部隊・車両の再編や配置換えに備え、余裕を持った敷地面積・建物規模で整備すべきではないかと。	1	[すでに盛り込み済み] 今回の取り組みは、高齢化の進展と人口減少の両面を見据える中で、消防体制の確保を継続しつつ、災害形態の変化、消防行政に対するニーズ、消防署からの現場到着時間等を踏まえ、消防力をさらに強化するために必要な消防署及び部隊・車両の将来的な配置を検討した結果です。 今後、計画に基づいた具体的な取組を進めるにあたっては、消防力の維持・強化のために必要な敷地面積・建物規模等について関係部局と調整を図ることとしています。
消防業務について			
6	消防力の強化によって、消防職員の業務量が増えるのではないかと。	1	[その他] 増加する救急件数及び救助件数に対応するとともに予防体制の強化を図るため、適切に職員配置を行い、今後も効率的な消防行政の運営に努めます。
その他			
7	女性職員が増えていることから、女性が働きやすい職場環境の整備を望む。	1	[すでに盛り込み済み] 女性消防吏員の採用を促進する中で、新築する消防庁舎や改修が可能な庁舎においては、女性消防吏員が24時間勤務できるように仮眠室やトイレの設置など女性消防吏員に配慮した職場環境の整備を進めているところであり、引き続き、庁舎の建替え等に際して必要な整備を行ってまいります。